

親愛なる吾が京都の労働者諸君に告ぐ

● 通例、よく「労働者が自覚しなければならぬ」と云ふ聲を聞きますが、これは一體どうした聲でしょうか。日本は昔から農業國でありましたが、今日では商業及び工業を以て國の基とする國柄になりました。ところが、いくら商業を盛大にしようとしても、工業が振はなければ、できない相續であります。故に現在及び將來の日本を富強にするには、先づ工業を盛大にしなければなりません。工業を盛大にするには、工業に従事される労働者諸君の智識が増し、技術が進み、人品が立派にならなければなりません。労働者が立派になるには先づ労働者が自覚しなければならぬ。即ち労働者諸君は、日本帝國の運命を憂念に擔ふて居る人々であるから、よく自分の地位と責任を自覚しなければならぬと云ふ意味であります。

● 諸君の地位責任は重大であります。此地位を辱めず、此責任を果たすには、先づ第一に諸君各自が立派な人にならなければなりません。「日本程労働者の地位の低い國はない」と世間で申します。が、地位が低いと云はれるのは、よも地位は高かるべき筈であつても諸君が地位相當の人格、見識がないからではありません。諸君の地位が高くなればなる程、諸君の人品は立派にならなければなりません。そこで、私共は、各自立派な労働者となり、一方では吾々に對する社會の態度を改めさせて、水鏡に吾々の地位を高め、境況を改善し、吾々の幸福を増すと共に、日本の國益を興りたいのであります。

● 「團結は力であります」一人の力は、十人の力は強いのであります。一本の指先よりも五本の指先は力があります。五本の指先よりも握り固めた拳はもつと強いのです。力がなければ何事も實行ができません。そこで吾々は日本の労働者を打つて一死となし、團體の力を以て、内には労働者の自覺を促かし、之れが職業訓練をなし、外には社會に對して労働者の地位の改善に關し必要な運動をする爲めに労働團體及愛會を組織しました。

● 自分で自分の事をする事は大切であります。自分の利益は自分で計らなければなりません。人の情にすがり人の恩恵に待たんとするものは、遂に氣分の境遇に甘んせねばなりません。然し吾々は眞に吾々を信じ吾々を愛してくれる人を吾等は赤愛し又信せねばなりません。そこで吾等は吾等を愛し信じてくれて而かも人格の剛い學問も深く識見も廣い職業の指導誘導は之れを願ひて此の自助團が眞に全に導く事をする事をおぼしめ、殊に京都支那では、帝國大學や其他の學校の諸先生に種々懇切に聲を懸つて居る事は、吾々の光榮とし且つ幸福とする所であります。

● 澤山の労働者諸君の間に至々として同志を同じくする方が深山あいでになる事と信じます。吾々は人に頼まれてこんな事をするのではありません。自分の命を懸つて自ら進んでやる事とありますから吾々に同志を同じくする諸君が一人でも多く友愛會員になつて、此の労働者の自助的運動に参加される事を更心から希望するものであります。

● 其他詳細の事、入會の手續等については事務所に就いて御尋ね下されば充分御説明致します。會員は五名以上は毎月成金五圓で、會員には會報の新聞雜誌、労働及産業上労働者新聞とを拜進呈致します。